

平成23年度一般会計補正予算説明資料

7款 商工費  
1項 商業費  
4目 貿易振興費

経済通商総室〔通商物流室〕(内線:7659)  
(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)中国・ロシア・韓国物流実証事業	0	10,160	10,160				10,160	
トータルコスト	0	15,752	15,752	(補正に係る主な業務内容) 境港を利用したトライアル輸送を実施				
従事する職員数	0.0人	0.7人	0.7人					
工程表の政策目標(指標)	境港の取扱貨物量増加:境港の物流拠点化(目標値520万トン) 境港の物流拠点化:境港コンテナ取扱量増加(目標値21,900TEU)							
<p>説明</p> <p>1 事業の目的・概要 境港及び環日本海定期貨客船の利用促進のため、境港ーロシア沿海地方ー中国東北部及びロシア東中部を繋ぐ新たな物流ルートの確立及び境港ー韓国・東海ーソウルの物流ルートの利用拡大を目指した物流実証実験(トライアル輸送)を行う。</p> <p>2 主な事業内容 荷主企業と共同で「境港ーウラジオストクー中国東北部・ロシア東中部」及び「境港ー韓国・東海ー韓国国内」の物流ルートの有用性と課題を確認するためのトライアル輸送を行う。</p> <p>(1) 検証項目 ・現行の輸送ルートと比較したコスト、輸送日数 ・ロシア、中国、韓国国内の輸送方法、輸送状況 ・ロシア・中国国境、ウラジオストク港、韓国・東海港での貨物の取扱状況、通関状況 ・到着地での貨物の品質</p> <p>(2) 想定する輸送ルート 【中国黒龍江省ルート】 国内各地ー境港ーウラジオストクー中国黒龍江省 【中国吉林省ルート】 国内各地ー境港ーウラジオストクー中国吉林省 【ロシアシベリア鉄道ルート】 国内各地ー境港ーウラジオストクー(シベリア鉄道)ーロシア各地 【韓国ルート】 国内各地ー境港ー韓国・東海港ー韓国各地(ソウル等)</p> <p>(3) 輸送コスト・日数の目標 【黒龍江省・吉林省ルート】 輸送コストは大連港経由と同等、輸送日数は4日程度の短縮 【ロシアシベリア鉄道ルート】 輸送コストは他港利用と同等、輸送日数は3～15日程度の短縮 【韓国ルート】 阪神港利用と比較して、陸送距離短縮効果による輸送コストの削減、輸送日数は同等</p> <p>(4) トライアル輸送結果のポートセールスへの活用 トライアル輸送結果を基に、新ルートの優位性が出せる貨物の発着地域、品目等を絞り込み、境港利用促進懇談会でのPRや個別の企業への提案を行っていく。</p> <p>(5) 事業費 トライアル輸送費用 10,160千円(委託料) *公募による荷主業者の選定</p> <p>3 これまでの取り組み状況、改善点 ・平成21年度にロシア～中国の物流の状況を確認するため現地調査を実施 ・平成22年度にトライアル輸送に向けた情報収集のため、物流企業、荷主企業等からの聞き取りを行った。</p>								